

ごみ資源化施設建設 NEWS

広報紙「ごみ資源化施設建設NEWS」では、新たな「ごみの資源化施設」に関する情報をみなさまにお届けします。

発行日：2018年11月15日
発行：町田市環境資源部
問合せ：循環型施設整備課
住所：町田市森野2-2-22
電話：042-724-4384

本事業に関する情報は、[町田市 熱回収 現場ホームページ](#)

<熱回収施設等施設整備工事情報>



町田リサイクル文化センター敷地内にあるごみ焼却施設は、運転開始から36年が経過し、老朽化が進み、多くの修繕費がかかっています。町田市では、将来にわたり安定したごみ処理を行うため、新しいごみ焼却施設等（ごみ焼却施設、バイオガス化施設、不燃・粗大ごみ処理施設等）を、町田リサイクル文化センター敷地内に建設しています。この新しい施設は、2022年1月の稼働を予定しています。また、現在のごみ焼却施設は、新しい施設の稼働後に解体工事を行います。

環境影響評価に基づく対策を実施しています。

環境影響評価（環境アセスメント）とは、大規模な開発事業などを実施する際に、あらかじめ事業者が環境に与える影響を予測・評価し、その内容について、住民や周辺自治体などの意見を聞き、それらを踏まえて、環境保全の観点からよりよい事業計画とする制度です。

本工事では、2017年6月に環境影響評価書を都に提出し、下記の14項目について調査や対策を実施しています。

※番号表記については環境影響評価書に合わせて記載してあります。
下記図は熱回収施設等の完成予想図です。

⑧生物・生態系
生物・生態系に与える影響をできるだけ低減するよう、既存工場棟の跡地に緑地を配置し、ビオトープ池を設置します。

⑤地盤及び⑦水循環
地下構造物を最小限とし、地下水位への影響を小さくします。また、雨水浸透貯留槽などを設置することで、降雨による表面流出を抑えます。

⑪景観
建築物の外観は、隣接緑地と調和するように、自然に溶け込むようなデザインとし、のり面や敷地境界部は緑化します。

④土壌汚染
灰の飛散や工場排水の漏れ防止対策を行います。

⑬廃棄物
工事に伴う廃棄物は分別を徹底し、再資源化を行います。

⑩電波障害
建築物が原因による遮蔽障害が発生した場合は、適切な対策を講じます。

③騒音・振動
低騒音型の建設機械の使用に努めます。設備機器の設置には騒音・振動対策をします。

⑨日影
影響範囲を小さくするような建物配置としています。

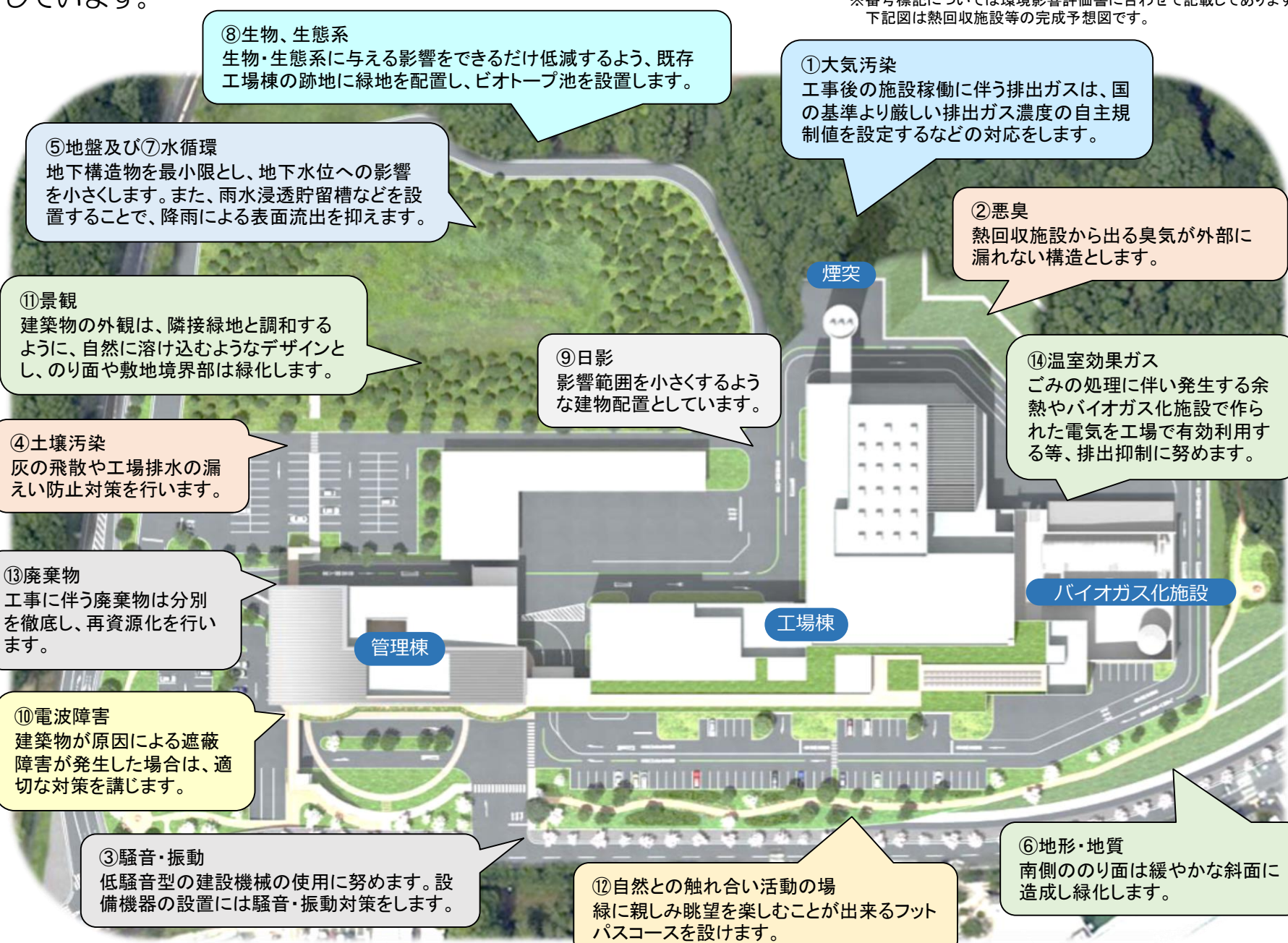
①大気汚染
工事後の施設稼働に伴う排出ガスは、国の基準より厳しい排出ガス濃度の自主規制値を設定するなどの対応をします。

②悪臭
熱回収施設から出る臭気が外部に漏れない構造とします。

⑭温室効果ガス
ごみの処理に伴い発生する余熱やバイオガス化施設で作られた電気を工場で有効利用する等、排出抑制に努めます。

⑥地形・地質
南側ののり面は緩やかな斜面に造成し緑化します。

⑫自然との触れ合い活動の場
緑に親しみ眺望を楽しむことができるフットパスコースを設けます。



環境影響評価に関するQ&Aについて

第2期建設工事に先立ち実施した工事説明会での環境影響評価に関する質問の他、本事業において行っている周辺環境への配慮や緑地計画等に関する内容をお知らせいたします。



工事説明会の様子



Q

現在、工事で土がむき出しになっている南側斜面については崩れたりしないですか？また今後どのような形となりますか？

Q

井戸水を使っている方への配慮や対応はどのようにしていますか？

A

豪雨等による災害を防ぐために急な斜面を緩やかにする工事を行い、雨水を集めて排水する設備を整備しています。斜面部分は緑化し景観への配慮も行っています。

A

ボーリング調査による地下水位の確認や、周辺の井戸を調査し進めており、現状問題ないことを確認しています。

Q

場内にあった樹木は全て処分されてしまったのですか？

Q

工事や運営などについて、周りの環境に影響するリスクは何か想定しているのですか？

A

移植に耐えられる樹種や生育状況等を調査し、一部の樹木については、施設整備後に場内に植樹できるように別の場所に移植して保護しています。その他の樹木については、細かく粉碎し資源化する等適切に処理しております。

A

東京都の条例に基づいた事後調査を計画的に行うことで、問題ないことを確認していきます。

Q

完成後はどのような緑の計画になるのか？

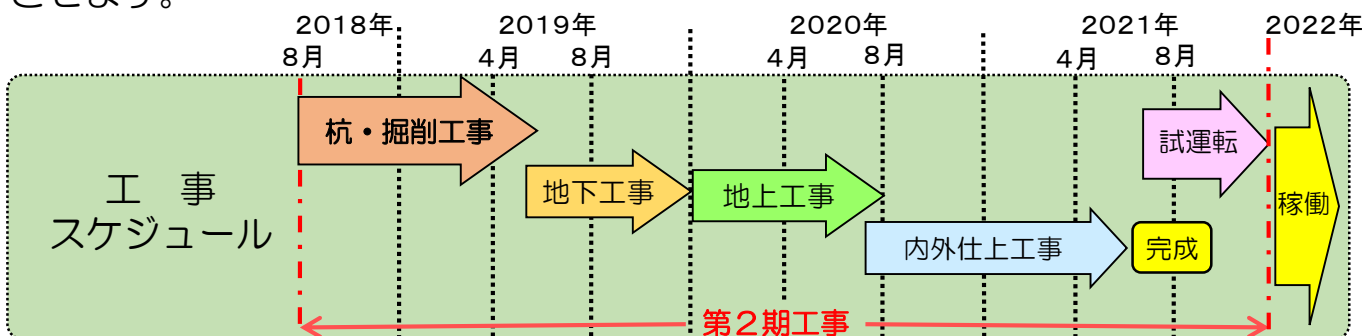
A

工事に伴い地域のシンボルともいえる桜や緑を伐採してしまっておりますが、新たな施設完成後には桜をはじめ道路沿いに緑の並木を設けるなど周辺環境に調和した計画としています。



今後の工事スケジュール（予定）をお知らせします

8月から、新たな熱回収施設等の建設工事（第2期工事）を進めています。今後、建物を支える杭工事、建物の地下工事を行うために必要な掘削工事を行います。2019年春頃から建物の地下工事を行い、2020年から建物の地上工事を行います。2021年夏頃に施設が完成し、試運転後、2022年1月から施設を稼働させます。



杭工事に使われる杭打ち機

地域にお住まいの方々と協働して事業を進めています

2018年8月7日（火）に、最新の焼却設備や運営状況を確認するため、2017年10月にオープンした杉並清掃工場を見学しました。本事業への理解を深めて頂き、安全で安心な施設整備と運営に向けて、引き続き協議を進めます。

2017年10月にオープンした杉並清掃工場を見学しました



町田リサイクル文化センター周辺地区連絡会委員による見学の様子

2018年8月9日（木）に開催した、第18回町田リサイクル文化センター周辺地区連絡会では、「環境保全協定」や「熱回収施設等の名称」等について、周辺地域のみなさまと協議を行いました。また、6月及び7月に開催した工事説明会の主な質疑回答について報告しました。

本事業に関する情報は、

町田市 熱回収

検索

で検索



あなたからはじまる、40%ごみ減量 **-40%**

あなたからはじまる、40%ごみ減量